

大切なドライバーに SASスクリーニング検査を!

全ト協の助成制度をご活用ください

注目!



SASが疑われる居眠り運転等による事故の際には疾病名の報告を「自動車事故報告書等の取扱要領」の一部改正について(国土交通省)

睡眠時無呼吸症候群(SAS)が原因と疑われる事故について報告がされていない状況を鑑み、SASが疑われる事故が発生した場合、自動車事故報告書の「推定原因」に事故の原因として疑われる疾病名を明記し報告するよう改正されました。(施行日:令和4年4月1日)

SASとは

睡眠中に頻りに呼吸が止まったり、止まりかけたりする状態(睡眠呼吸障害)が繰り返されるために、質の良い睡眠が取れず、日中に強い眠気や疲労等の自覚症状を伴う病気です。

SAS患者は、居眠り運転を起こす危険性がある上、治療をせずに放置すると命にかかわる合併症(高血圧、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞等)を引き起こすおそれもあります。これらの疾病は、**運転中の突然死にも繋がる健康起因事故の主原因**でもあります。

あなたのその症状…もしかして 睡眠時無呼吸症候群(SAS)かもしれません

- 大きないびきをかく
- 息が苦しくて目が覚める
- 睡眠中に呼吸が苦しう、呼吸が止まっていると指摘される
- 昼間に強い眠気を感じる
- 朝起きた時に頭痛、頭重感がある

※必ずしも眠気を感じるわけではないという点に注意が必要です。疲労感や倦怠感が継続するときなども、実はSASが原因となっている場合があります。



SASは簡単なスクリーニング検査で早期発見することができます。また、SASと診断されても適切に治療すれば健康な人と同様に安全運転を続けていくことができます。**SASであることに気づかず運転業務を続けることが、最も危険な状態であり、避けるべきことです。**

積極的に**SASスクリーニング検査を受診**し、SASの早期発見、治療を行い、健康起因事故をなくしましょう。

令和4年度健康起因事故防止のための 取組に関するアンケート調査

SASスクリーニング
検査を従業員に受診
させていますか?

受診
させている
37%

資料:国土交通省

ドライバー全員にSASスクリーニング検査を受診させましょう

